

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

現在、高血圧・内分泌内科では、先行研究で同意を得て保管した残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 原発性アルドステロン症に伴うカルシウム代謝異常の特徴とその病態的意義

[研究対象者]

2011年5月～2026年1月までの間に、高血圧・内分泌内科にて原発性アルドステロン症と診断され、高血圧・内分泌内科で診断・治療を受けられた方

[利用している検体・診療情報等の項目]

残余検体：副腎手術残余検体

副腎手術残余検体は先行研究「各種副腎疾患における(プロ)レニン受容体発現に関する検討」に対し同意取得済みの、2026年1月までに収集した検体を用いることとする。

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、身長、体重、血圧、尿検査（随時尿および蓄尿中のクレアチニン、カルシウム濃度）、血液検査（腎機能、血糖値、脂質、電解質、PTH）、内分泌検査（レニン活性、アルドステロン値）、心電図検査、血管内皮機能検査（CAVI、FMD 値）

先行研究「各種副腎疾患における(プロ)レニン受容体発現に関する検討」で収集した情報（上記項目）

[利用の目的]（遺伝子解析研究：☑ 無）

本研究は原発性アルドステロン症のカルシウム値に与える影響を明らかにし、全身に与える影響を検討します。残余検体は、腫瘍の*KCNJ5*遺伝子変異の有無とカルシウム代謝異常の関連を検討します。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2028年3月までの間（予定）

-----  
[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 内科学 液性病態制御内科学分野 教授・基幹分野長 市原淳弘

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 高血圧・内分泌内科 渡辺大輔

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）